

平成28年度日米共同統合演習(実動演習)について

平成28年10月21日
防衛省

平成28年度日米共同統合演習（実動演習）について

演習の目的

日米共同統合演習（実動演習）は、我が国防衛のために必要な自衛隊相互間の連携要領、いわゆる「統合運用」要領及び米軍との連携要領、いわゆる「共同対処」要領の維持・向上のために実施します。

演習の沿革

日米共同統合演習は、昭和60年度から開始され、概ね毎年、実動演習と指揮所演習を交互に実施しています。本年度は、実動演習であり、13回目の実施となります。

演習の実施場所

- 我が国周辺海空域、基地等
- 米国グアム島、北マリアナ諸島テニアン島及び同周辺海空域、基地等

演習の実施期間

平成28年10月30日（日）～11月11日（金）の間で予定しています。一部には夜間及び土日を含む演習となりますが、都民の皆様の生活に影響を及ぼさないよう、十分に配慮いたします。

演習の内容

演習の目的に基づき、我が国防衛のための自衛隊の行動及び米軍との連携要領を演練します。このため、陸上、海上、航空作戦及び統合輸送等の全てを包含した総合的な演習となります。本演習は、特定の国や地域等を対象としたものではありませんが、我が国防衛のための自衛隊の即応性を向上させること及び日米の共同対処能力の向上を通じて、都民の皆様の安心・安全の確保に資することができるものです。

平成28年度日米共同統合演習（実動演習）の 横田基地における訓練について

- 我が国防衛を全国規模で実施する日米共同統合演習の一環として、横田基地において、統合後方補給（輸送）訓練、空挺降投下訓練、航空救難訓練、共同基地警備訓練及び通信訓練を実施します。
- 統合後方補給（輸送）訓練では、米軍輸送機C-17により、航空自衛隊PAC3車両1両を横田基地から岩国基地へ空輸します。
- 空挺降投下訓練（実降投下予定なし。）では、横田基地において、降投下する人員の事前訓練（駐機中の実機を使用した降下指揮要領、日米降下指揮官の連携要領に係る訓練）及び重物料の梱包・点検・航空機への搭載を実施します。
- 航空救難訓練では、航空自衛隊小松救難隊が横田基地及び周辺空域において、米軍の救難訓練及び装備品の研修を実施します。
- 共同基地警備訓練では、航空自衛隊横田基地隊員約15名及び米軍横田基地隊員約15名が共同して基地警備訓練を実施します。
- 通信訓練では、航空自衛隊移動通信隊が横田基地内に展開し、横田基地における通信が途絶した際の代替手段の確立に関する訓練を実施します。
- 訓練は、安全管理を徹底するとともに、周辺住民の皆様の生活に可能な限り影響を及ぼさないよう、配慮いたします。

横田基地における訓練内容（イメージ）



統合後方補給（輸送）訓練



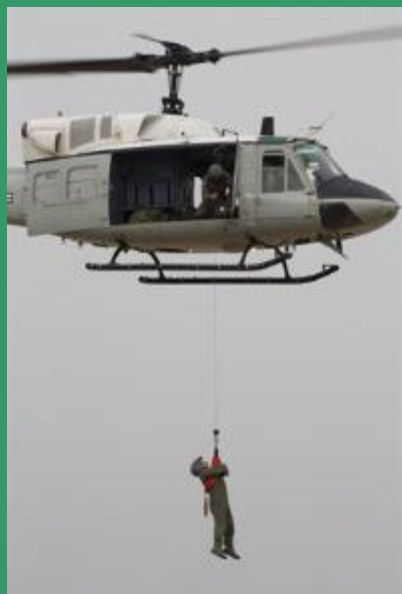
空挺降投下訓練



共同基地警備訓練



通信訓練



航空救難訓練



規模

- 統合後方補給（輸送）訓練
自衛隊 空自人員約10名、車両約4両
米 軍 C-17輸送機×1
- 空挺降投下訓練
 - ・事前訓練
自衛隊 人員約20名、車両約5両
米 軍 人員約10名
C-130輸送機×1
 - ・重物料梱包
自衛隊 人員約20名、車両約5両
米 軍 人員約10名
C-130輸送機×2
- 航空救難訓練
自衛隊 人員約8名
米 軍 人員約10名、UH-1×1
- 共同基地警備訓練
自衛隊 人員約15名
米 軍 人員約15名
- 通信訓練
自衛隊 人員約10名、車両約4両